

平成30年度(2018年度)決算 健全な財政運営 ～過去最高の市税収入、健全化判断比率の改善～

1 決算の概要

(1) 一般会計

ア 歳入 979 億 2,810 万円 (前年度比 3,149 万円の増加)

歳出 957 億 7,608 万円 (前年度比 2 億 5,674 万円の増加)

イ 平成 30 年度 (2018 年度) の主な事業等

- ・市民会館舞台照明設備等改修工事
- ・東部市民センター図書室等改修工事
- ・住民票の写し等証明書のコンビニ交付
- ・おたふくかぜワクチン接種費用補助
- ・衛生プラント整備 (平成 28 年度～30 年度継続事業)
- ・ふれあい農業公園整備 (平成 30 年度～令和元年度継続事業)
- ・プレミアム付商品券・建設券発行事業助成 (市制 75 周年記念事業)
- ・勝川駅南公園雨水調整池整備 (平成 29 年度～30 年度継続事業)
- ・熊野桜佐地区雨水 1 号調整池整備 (平成 30 年度～令和 2 年度継続事業)
- ・高蔵寺まなびと交流センター開所
- ・小中学校校舎トイレ洋式化・体育館バリアフリー化工事

ウ 実質収支 17 億 8,493 万円の黒字 (前年度比 3 億 6,243 万円の減少)

- ・市税収入は、過去最高の 517 億 283 万円 (前年度比 2 億 4,828 万円の増加)

個人市民税 196 億 3,529 万円 (前年度比 2 億 6,632 万円の増加)

法人市民税 31 億 2,250 万円 (前年度比 1 億 1,039 万円の減少)

固定資産税 208 億 4,928 万円 (前年度比 8,805 万円の増加)

(2) 特別会計・企業会計 (収益的収支)

ア 国民健康保険事業 1 億 3,436 万円の黒字

イ 介護保険事業 8 億 8,691 万円の黒字

ウ 市民病院事業 9 億 842 万円の黒字

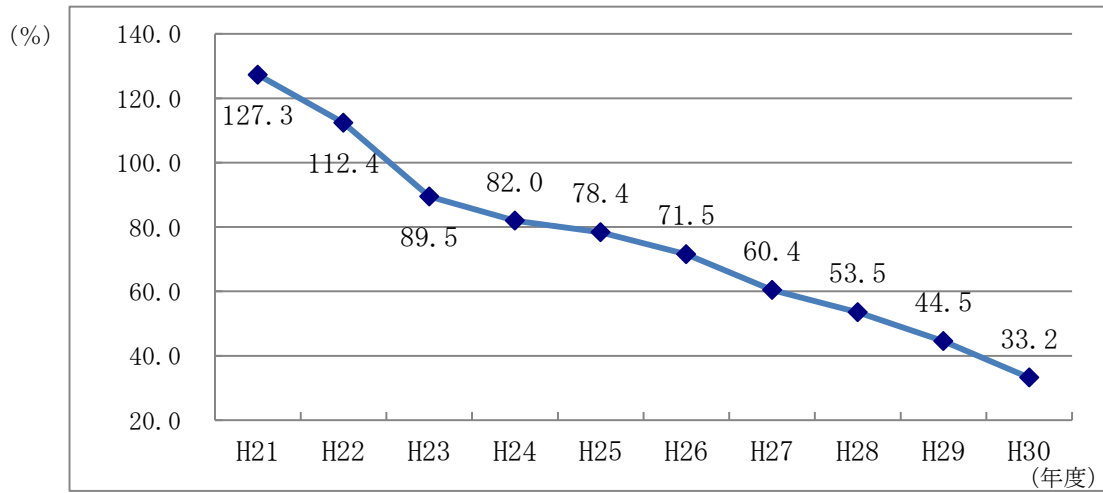
エ 水道事業 2 億 8,647 万円の黒字

2 財政指標等

(1) 将来負担比率は、33.2% (11.3 ポイント改善)

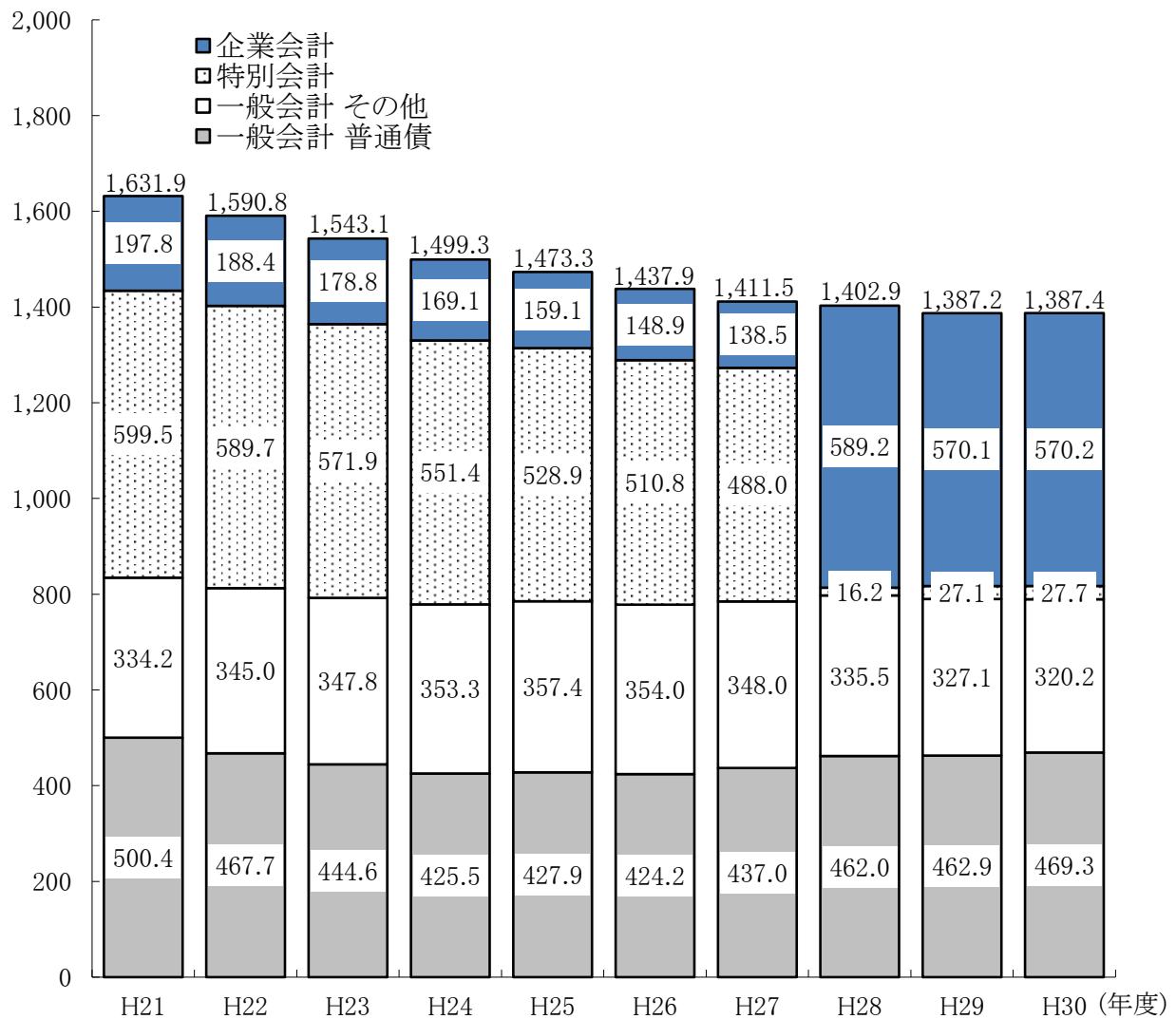
(2) 全会計の市債残高は、1,387 億 4,463 万円 (2,531 万円の増加)

2 (1) 将来負担比率



2 (2) 全会計市債残高

(単位:億円)



※普通債には災害復旧債を含む

※公共下水道事業は、平成28年度に特別会計から企業会計に移行